

お知らせ

新型コロナウイルスで困ったら
まずは組合へ

8月1日現在組合員数…2,089名



発行所
東京土建一般労働組合
南部ブロック会議
品川区戸越5-18-2
☎(3783)0471
発行者 葛西政之
定価 1部 50円
(購読料は組合費に含まれています)

東京土建国保組合の 組合員の皆様へ

新型コロナウイルスの感染症に影響により、
生活が著しく困難になり、次のいずれかの
要件を満たす方は**保険料が減免**となります

対象となる保険料:
2020年2月から2020年9月分まで(8カ月分)

①主たる生計維持者(世帯主)が死亡した組合員
→ **保険料を全額免除**

②主たる生計維持者(世帯主)が重篤な傷病を負った組合員
→ **保険料を全額免除**

③組合員の**収入減少(※)**が見込まれる組合員
→ **保険料の全額又は一部を減額**

※収入減少について

組合員の事業収入や給与収入など、種類ごとに見た収入のいずれかが前年に比べて30%以上減少する見込みであること。

収入の減少率	保険料の減免割合
50%以上	全額(8カ月相当分)
40%以上50%未満	3/4(6カ月相当分)
30%以上40%未満	2/4(4カ月相当分)

※2019年の収入及び2020年の収入の減少を証明する書類等が必要です。

詳しくは組合事務所(品川支部) **03-3783-0471**まで

国保料の減免実施

新型コロナウイルス対策として

組合員・家族の暮らしを守るため
7月から支部事務所で受付開始

国保対策委員長 野村 和好

まも苦慮しつつ、取り組む毎日だと思います。感染者は全額免除、収入減少者は減免

この様な生活を鑑み、東京土建では、④新型コロナウイルス対策として、これに感染、または「仕事が入ってこない」「あっても月に数日しか仕事がない」と、多くの組合員から報告がありまた被保険者に対しての「新型コロナウイルス感染拡大」の急事態宣言解除後、新生活様式が求められ、皆さ

収入が減少した方は、数多くおられます

は、あてはまる事と思います。今回のこの制度、まだ不十分な点は多々あると思いますが、新型コロナウイルス感染拡大の第2波・第3波を想定しての内容であると思います。

収入が減少した方は、数多くおられます

これは、これまでの決定だと推測するところであり、本支部の執行委員も、皆さんと同じ組合員でありますので、仕事をしながらの組合活動であります。書記局と違ってもばらばら活動に動いている訳ではありません

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、「いまだに現場に入所できない」「仕事が入ってこない」「あっても月に数日しか仕事がない」と、多くの組合員から報告がありまた被保険者に対しての「新型コロナウイルス感染拡大」の急事態宣言解除後、新生活様式が求められ、皆さ

給付事例

白色申告をしている土建太郎さんの場合

2019年度の収入 A=300万円

2020年2月～7月の間の任意の2か月の収入を選ぶ
2月(10万円)+5月(10万円)=20万円

2020年の収入見込み(上記の金額の6倍)

20万円×6=120万円 B=120万円

減収割合 計算式 $100 - B \div A \times 100$

この事例の場合 $100 - 120 \div 300 \times 100 = 60$

減免金額 60%減少しております
→8か月分の国保料の返金

チェーンソー特別教育補講

in八丈島

【技術対策部発】

7月18日(土)に、八丈島にて「チェーンソー特別教育補講」を開催しました。

今回の講習は、昨年の法改正によるもの、特別教育補講を受講しない補講を受講しない(「チャックと業務に就けなくなる中での実施となりませんでした。当日は3密対策を取りながら、16名の方が受講し、午前中に学科、午後からは、実際にチェーンソーで丸太を切断する実技に臨みました。



有効期限ギリギリの講習会でした

で、8月1日以降、補講を受講しない(「チャックと業務に就けなくなる中での実施となりませんでした。当日は3密対策を取りながら、16名の方が受講し、午前中に学科、午後からは、実際にチェーンソーで丸太を切断する実技に臨みました。

建前

新型コロナウイルス第二波が襲来している。

迎え撃つ日本政府の動きが心細い。撃退するぞとの意気が感じられないのだ。また東京都が掲げる「ウィズコロナ」の宣言は、「コロナ様と折り合いをつけ仲良く行こう」と言っているように私には聞こえない。

◆このウィルスは年初の大方の見方に反し非常に手強いウィルスである。手強い相手には基本を守った攻め方が重要だと思ふが、この場合は検査を大量にやって陽性者と陰性者を区分し、陽性者には治療を、陰性者には経済を担ってもらうことであるべきと思ふ。◆しかし日本政府にはこの戦術がとれない事情があるような気がする。◆大量の検査は大量の陽性者を生むが、その受け入れ体制の整備には膨大な支出を要し、1980年代から続く医療費削減路線を足許から否定することになりかねないからだ。◆従って政府に期待の持てない私に残された道は、絶対にコロナを体内に入れないぞとの決意のもとに、マスクと手洗いをこれまで以上に励行することである。

品川分会

高橋 宏

語り継ぐ戦争体験

～あの戦争を後世に伝えたい～

恐ろしかった焼夷弾

脳裏から離れない艦砲射撃

旗中分会 白庭 淳夫

あつという間の出来事だった。B 29 特有の爆音が聞こえたと思ったら、焼夷弾が雨あられのように、我が家の周りに投下され、びっくりして素足のまま外に飛び出した。運悪く炸裂した焼夷弾の破片を素足で踏んでしまい、裂傷の大ケガを負ってしまった。母親に背負われ病院に向かったこと、数人のケガ人がいたことを、今でもはっきりと思い出す。そして、今でも残っている足の傷跡を見るたび、恐ろしかった戦争体験が蘇る。

私は北茨城の磯原町で生まれ、13歳の時に恐ろしい戦争体験をしました。あれから早いもので75年の歳月が流れ、壊れた走馬灯のように蘇る思いです。

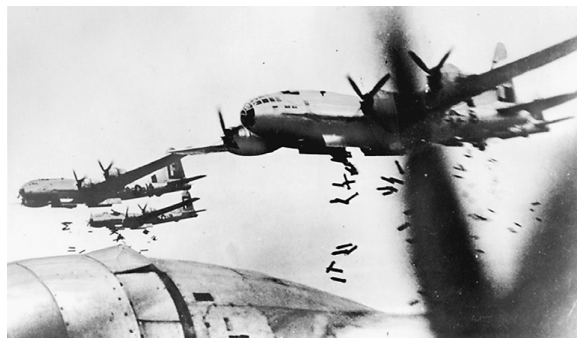
昭和19年の12月頃だったと思う。夜の8時頃、縁側で隣町が焼夷弾で爆撃されているのを見上げていました。

また、太平洋上からの日立の軍需工場を狙った艦砲射撃の地響きと轟音の恐怖は、今でも脳裏から離れない。日本軍の飛行機は1機も現れず、軍需工場はなすすべなく崩れ落ちたと聞いた。自分たちは裏山の穴蔵に逃げ込み難を逃れたが、生きた心地がなかった。日本の敗戦が近いことを、幼心に悟った。その翌年の8月15日、玉音放送が流れ、終戦となった。

菅野さんの

意思を継いで

語り継ぐ戦争体験を書く事にあたり、昨年6月、93歳で逝去された中



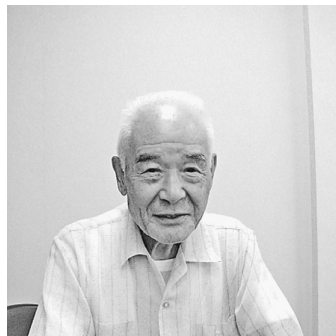
焼夷弾が投下される様子



足の傷跡を

見るたびに、

戦争体験が蘇る



在りし日の菅野正二郎さん

いっぶく

駄菓子への郷愁

小山分会

佐藤 健

町の「駄菓子屋さん」は絶滅危惧にあるが、駄菓子自体はスーパや百貨店などで今もたまに目にすることが出来る。

老舗の「梅ジャム」は昨年姿を消したそうだが、橙色の小さな丸いガムや煙草型の砂糖菓子、本場にヨーグルト？舌を派手に染めるスモモ、凍らせると抜群に旨いアンズ棒（今は炭酸で割った。食欲とキャンブル欲を両方満たせる。「当た

う」等々懐かしいラインナップが並ぶ。アラ還の私も小銭を握りしめ近所の文房具屋兼駄菓子屋に足繁く通った少年時代を思い出す。

欲深い私が特に好きだったのは「クジ付」の菓子だ。大人になってから買うクジとは違って結構当たるのが嬉しかった。特に夏は、棒に「当たり」と焼印のあるアイス類がたまらなく好きだった。食欲とキャンブル欲を両方満たせる。「当た

り」で得たアイスで再び当たったりすると「僕は世界一幸せなんじゃないか」などと感じたこともあった（腹を壊すだけだった）。

折角の「クジ」を楽しむために、すぐに「当否」がわかってしまわないように、融け落ちる心配をしながら、わざとゆっくり

り食べたり、薄くなったアイスから透けて棒が見えてしまわないように「当たり」と書かれているだろうか？無いな。わざわざ「ハズレ」と書かれていないやいなか。



懐かしの梅ジャム



あんず棒

新型コロナウイルスで困ったら
まずは組合へ

◆持続化給付金(経済産業省)

◆雇用調整助成金

◆家賃支援給付金(経済産業省)

品川の施設

武蔵小山緑道公園

中延分会

村山 浩幸

さんや、年配の方が安心して歩ける。

東急目黒線の線路跡地に緑道公園がある。

不動前緑道、武蔵小山緑道、西小山緑道と、駅をはさんで緑道が続いている。

冬には日なたぼっこをする人も見受けられ、夕方には、買物帰りの人、あり、四季折々の花が咲く。車輪やバイクなどは通行できず、小さなお子

交う人が多い。

遊具は少ないので公園のように遊ぶことはできないが、ゴミが散乱していることもなく、気持ちよく歩ける場所である。地元の方の催しで使われることもあり、地元の人達には、すっかり馴染みになっている。ぶらぶらと歩くにはもってこいの緑道である。



ビオトープ、いやされます



目黒線電車型ベンチ

ぶらり品川

その160